

# 「命」を繋ぐ技術を、「沼津」から。

～乳がん検査の革新に挑む株式会社アイグリットさまと地域医療連携モデル～



東北の仙台に本社を構える医療機器スタートアップの株式会社アイグリットさまが挑むのは乳がん検査の「当たり前」を変えること。代表取締役社長である近藤 真一氏は乳がん検査への心理的・身体的なハードルを下げ、より多くの方が「早期発見」に辿り着ける社会を目指している。

その第二の拠点として同社が選んだ場所が、沼津信用金庫が運営するシェアオフィス「ぬましん COMPASS」であった。

ぬましん COMPASS での支援、静岡県東部の地で医療の未来を切り拓くファルマバレーセンター（静岡県医療健康産業研究開発センター）との出会い、そして「ぬましん未来応援ファンド」による出資。

“地方から社会を変える”という新たな成長モデルが沼津で動き始めている。



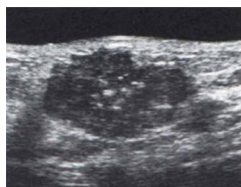
## 乳がん検査に「寄り添う」技術を作りたい

「最初に関わったのは、子宮頸がんの超音波検査装置の開発であった。」そう語る近藤氏が次に向き合ったものが“乳がん検査”の課題であった。

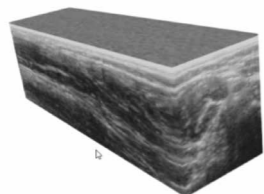
「当時の乳がん検査機器は大きくて扱いにくく、使える場所も限られていた。もっと自由に、もっと気軽に検査できないか—そう思いました。」

その想いを強く後押ししたのは、同級生を乳がんで亡くしたという個人的な経験、そして自身の妻や娘たちの存在であった。

「身近な人が、“検査に行きたくない”とためらう社会を変えたい。」その一念から、小型で使いやすく、痛みや負担の少ない検査機器の開発に踏み出すことになる。



診断用断層画像



断層画像の集まりを3D化

## 沼津で見つけた、もう1つの出発点

本社は仙台でありながら、なぜ遠く離れた沼津に拠点を構えることを決めたのか。

医療機器ベンチャーに勤めていたころ、近藤氏のもとに偶然にも静岡県出身の同志がいたという。共に独立を目指し、医療分野でも新たな挑戦を描いていたが、仲間は別の道を選び静岡県駿東郡長泉町にあるファルマバレーセンターに転職。

その後、ファルマバレーセンターで“医療機器のスタートアップを探している”という情報を耳にした近藤氏。そこから紹介を通じて、ぬましんと出会うこととなった。そして、「ぬましん COMPASS」に入居。面談を重ねる中で、「沼津信用金庫」がただの金融機関ではなく、地域と連携し、スタートアップの事業を“共に育てる”存在であることを知る。

「ファルマバレーセンターのバックアップ、ぬましんとの連携、そしてぬましんと信金キャピタル株式会社（東京）が立ち上げた「ぬましん未来応援ファンド」。これほど整った挑戦の舞台は他にないと思った。」と近藤氏。

チャンスを掴んだら離さない—。その行動力が株式会社アイグリットさまをファンド第1号の出資先へと導いた。

## 地域金融機関とともに動き出すファンドとの出会い

乳がん検査機器の開発を進める株式会社アイグリットさまにとって、製品の改良や事業の継続には資金調達が必要な課題となっていた。そのような中で出会ったのが「ぬましん未来応援ファンド」であった。

第1号試作機のプレゼンテーションを通じて、同社の技術と社会的意義に可能性を感じたぬましん担当者がファンドへの推薦を行った。スタートアップに挑戦する真摯な姿勢と将来の成長性を評価し、出資が決定。このファンドの記念すべき第1号投資先となった。

「当時は資金が枯渇しかけていた中で、出資が決まった時はまさに、“砂漠の中でオアシスを見つけた”ような感覚であった。」と近藤氏は言う。

出資によって得られたのは資金だけではなく、地域金融機関からの支援は事業の信用力を高め、病院との連携や新たなネットワークにも繋がっていった。

現在商品は、製品化に向けて検証を重ねている。

このように地域金融機関とスタートアップが手を取り合い、事業と地域の両方が成長していく新しいモデルが確実に動き始めた。



## 沼津でなら、できることがある

医療機器スタートアップの株式会社アイグリットさまが静岡県沼津市に新たな拠点を構えた背景にはファルマバレーセンターとの繋がりと、地域金融機関であるぬましんの存在があった。産業支援機関、そして信用金庫という地域の土台がひとつのスタートアップの挑戦を支えている。

「挑戦したい」と願う企業と「挑戦を支えたい」と考えるぬましん。この2つの意思が出会い、結びついたとき地方発のイノベーションは、より確かな輪郭を持ち始める。

「大都市圏だけが成長の舞台ではない。」そう語る近藤氏の言葉には、事業への情熱と沼津という地域にかけける期待が込められていた。

異なる地域に拠点を置くことで、株式会社アイグリットさまは新たなビジネスの形を作りつつある。そして、その架け橋の一端を担うのが沼津信用金庫の役割である。



### 【職員コメント】

地元企業の方はもちろん、地域外からの挑戦にも地域がどのように受け止め、育てていけるか。私たちは単なる金融支援にとどまらず、企業の方々の想いに伴走しながら沼津という地域の可能性をともに広げたいと考えてきました。ぬましんCOMPASS やファンドはそのための「仕組み」であり、「入り口」です。さまざまな挑戦の過程に伴走することが私たち地域金融機関の使命です。ぬましんはこれからも挑戦する人とともに、地域の未来を切り拓いてまいります。

### 〈株式会社アイグリット〉

- 代表取締役社長：近藤 真一
- 拠 点：静岡県沼津市高島町15-5 ぬましん COMPASS 2F  
宮城県仙台市宮城野区榴岡1-1-1  
JR 仙台イーストゲートビルディング2F
- 設 立：2020年1月
- 事業内容：医療機器開発  
ファーストスクリーニングサービス開発

### 〈ぬまづ - 信金キャピタル投資事業有限責任組合〉 (通称：ぬましん未来応援ファンド)

- 出資規模：5億円
- 出 資 者：有限責任組合員：沼津信用金庫  
無限責任組合員：信金キャピタル株式会社  
(信金中央金庫100%子会社)
- 投資対象：新たな分野や成長分野での活躍が期待される企業、  
および既存事業の安定的な成長・発展を目指す企業
- 目 的：地域経済の活性化と創業率の向上

ぬましん  
COMPASS  
NUMAZU

〒410-0056 沼津市高島町 15-5

ぬましん  
COMPASS  
GOTEMBA

〒412-0028 御殿場市御殿場 10-1

ぬましん  
COMPASS  
SHUZENJI

〒410-2407 伊豆市柏久保 633-9 1階

詳しくはこちらから



当金庫は大学や高等専門学校などと連携協定を締結し、ぬましんCOMPASS 内にそれぞれサテライトオフィスを開所いたしました。地域人材の育成や地域課題の解決など、交流を通じて産学官民の繋がりを深めております。

連携協定締結先	
国立沼津工業高等専門学校	沼津高専サテライトオフィス「N-com」を開所
国立大学法人静岡大学	「沼津イノベーションオフィス」を開所
静岡県公立大学法人	「Kendai-com」を開所

※詳細はP5 TOPICSページをご参照ください。